高退協ニュース

高退協事務局
1987・10・
No. 35

高知県高等学校退職教職員協議会
〒780 高知市丸の内二丁目一一一〇
教育会館内 高教組気付
☎〇八八八一二二一六八二二
振替口座 徳島五一一一八九三

知事・南国市長選に革新の統一と団結を

県知事選の前哨戦は流動的でした。中内知事の再出馬、自民党公認、和食前副知事の出馬、総評の革新統一候補要請決議、これを無視する社会党県連執行部の反中内路線呼称の和食推薦決定。これらの情勢の中で、革新勢力の切実な統一要求を無視する右傾化路線の台頭が特徴的です。これは、革新統一と民主県政実現を願う広範な県民世論に対する裏切りであり、挑戦です。中内、和食は保守勢力の内部矛盾で、同じ穴の狢、革新の代表ではありえません。

そこで、革新的な学者、文化人の集団である県民主政治懇話会が中心となり、革新統一候補の擁立とその必勝態勢の確立に努力してきました。しかし全県民の連合を求める選択は難しく、最終的には、四年前中内県政と対決した門田重吉氏に再出馬を要請することになりました。門田氏は全県革新の激励と協力共闘を条件に、これを期待して立候補を決意しました。

これは、戦前の大政翼賛政治、労組の産業報国会化を阻止し、平和と民主主義を守り抜く崇高な一大政治決戦です。全県民の団結と行動が求められています。革新内部の自民党寄りの路線を孤立化し、現実の高知県の政治・経済・文化などあらゆる面での大きく広い明るい展望に確信を持って、勝利をめざして闘い抜きましょう。

南国市長選も直ぐです。ここは地域的に、社会・共産の両党と地区労組が三者一体で統一候補を立て、市長選を闘う意志統一が成功しています。私たちが高教組から革新統一候補を立てて闘い抜き、綿々たる勝利を得た過去の栄光を持つ南国市長選です。単なる美しい回想に終らせることなく、絶対に負けられない選挙です。

この革新の地盤となりうる南国市市長候補には、私たち高退協の会員である田中平氏が立ちました。彼の健闘と勝利あるのみです。

県下の革新勢力の日々新たなる前進と、両氏のご健闘と勝利を祈念して共闘を誓いたいと思います。

この頃思うこと

島崎 斉

生徒には、「退職後は爪先立ったりせず、自分にできることをボツボツとやっていく」と言って別れた。在職中、手をつけて中途半端になっていることを整理し片付けて、それから自分が心から求めることを大切にして楽しみながらやっていこうとしているが、整理も思うように捗らないし、好きな事も存分に没頭できず、もう半年を経過した。

生来の怠けぐせが原因だが、われわれをのんびりさせない世の中の出来事、精神衛生上よくないニュースが多すぎるからでもある。エイズと核の恐怖、誘拐と殺人、男性化粧等・・・に世紀末を見る人もいるし、店頭には二十世紀をあらためてふりかえる出版物（二十世紀全記録、講談社）も現れた。

昭和とともに生まれ育ち、己に戦慄する事も許されなかった私達は、何が何でも二十一世紀まで生き抜き、新時代を確かめなくちゃ！、と思っている。

退職にあたって

橋本 進市

「光陰矢の如し」とか、今年三月三十一日付で高知工業定時制を最後に退職して、六ケ月になろうとしています。停年までまだ一年ありましたが、臨時の若い青年教師が本採用を目指して頑張っている姿を見るとき、私の息子も三年間の臨時教員生活をし、また自分の体力からしてもはや今日の定時制の生徒を十分指導することの困難さをひしひしと感じておりましたので、後進に道をゆずるべきだと決心したわけです。

教員生活三十六年間、多くの組合員の皆さんに支えられ大禍なく過すことができました事を深く感謝しております。勤評闘争・山原選挙・南国市長選等、高教組の一員として取り組んだ思い出もなつかしく思っております。

これからも高退協の皆さんの御指導を得て、楽しい思い出を沢山つくりたいと思っておりますので宜敷お願い致します。現在八月二十七日開催の医療相談日より禁煙中、さて何日続くことやら！ これからボラ釣りのシーズン入り、多忙になりそうです。

退職雑感

乾 登男

退職真近の三月中旬、体育館内にある「段違い平行棒が折れた」との連絡でその状況を調べに行った処、見た眼には破損ケ処がそれとはわからない為、自分の年齢や体重を顧みず飛びついたまでは良かったのですが、右手だけが棒を摑み、何くそと左手も摑もうと力んだお蔭で、とうとう右肩右腕に激痛がはしり、握った右手を放したが、時既に遅し肉ばなれ症状から六十肩になったわけです。

それでも一ケ月程はサロンシップエースなど完薬治療を続けるうち、とうとう右肩右腕が夜も眠れぬ仕儀と相成り、娘や息子にも怒られて、やっと重い腰をあげて病院にて治療を受けたのが怪我から一ケ月余も経った四月末、治療を受け始めると一週間位で腕が少しは動かせるようになり、二週間位で食事をするのに腕もどうにか動かせるようになりました。しかし乍ら、それから五ケ月を経た現在に至るも尚全快に至らず、すっきりしない毎日です。

元来、人づきあいの下手な私は、退職したら、少年時代から好きで、そして果せなかった画をかくということ、それも自由に自己流でもよい、誰にも干渉されないで、画きたいときにかき、もう一つ好きな釣（海・川）にも好きな時間を持ちたい、また雨の日は本も少しは読んで・・・など、もり沢山な夢（いや、それぞれ道具だけはかなり揃えていますが）を、六十肩の痛みがついつい鈍らせてしまいそうな日々。八月中旬、上の娘に長男誕生、吾が家では目下生後二十日あまりになる孫と娘と古女房の四人暮し、孫の顔を見ながら炊夫などをしたりの毎日が肩の痛みを忘れさせるに役立っているようです。

退職してもすぐ再就職して頑張っておられる方には甚だ申し訳ないような私の生活は、書きものにしても、読む価値を見い出せるはずはありませんが、何はともあれ書かなくてはと思い書いてみました。

高校教研のお誘い

本年度の教研集会が、別紙の要項で実施されます。私たち高退協もその実行委員会のメンバーです。みなさん多数のご参加をお願いします。

健康講座開かれる

残暑なお厳しい八月二十七日、山内会館において、高知生協病院医師の屋山裕氏、ケースワーカー重光広子氏を講師に、高齢者の健康、医療福祉問題について、会員約四十名の参加をえて、第一回健康講座が大変有意義に開催されました。

自分の健康を知り、自分で守ることのできる代表的なものに高血圧がある。七十歳後半からが実の老人といわれるが、死因の上位はガン・脳卒中・心臓病である。ガンは早期発見・早期予防が必要で、タバコを止めれば、ガン・脳卒中も予防できる。九十五％は喉頭ガンと関係があり、タバコを止めれば七十％は肺ガンがなくなる。

脳卒中・心臓病も大いに予防ができ、それに大いに関係するのが高血圧である。血管がさける脳出血は即高血圧で、大変危険で心臓病の原因にもなる。血管がつまる脳梗塞も高血圧で動脈硬化が主原因である。

血圧はWHOでは、最高・最低それぞれ一四〇、九〇までを正常値としている。一六〇、九五以上は高血圧で、保温トイレにしたり、便が出にくい時は下剤などを服用して力まない、また塩分を少なくする等々、わかりやすく直ちに実効があげられる示唆を受けました。

また、高齢者の医療福祉行政の動向や、知っておきたい福祉制度について、適切な資料をもとに説明をいただき大変参考になりました。特に、臨調行革路線にもとづく社会保障の改悪内容は許せないことが痛感されました。

研修旅行中止について

本年度総会において、秋季研修旅行の実施を活動方針として提起し、事務局で数度にわたり検討、実施計画を発表することになっていました。しかし、その寸前に、知事選と南国市長選に会員である門田氏と田中氏が出馬を表明され、高退協もその勝利を期し全力で闘わなければならなくなりました。また旅行を実施したとき、他団体に対する影響も大きいと考え、やむを得ず中止することにしました。ご了解賜わりたくお知らせ申し上げます。